

# 熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和元年12月26日掲載

3年2組 前川愛華

11月29日に苓北中学校では、生徒会役員選挙立会演説会が行われ、私は選挙管理委員長としてこの選挙を運営しました。「選挙」については社会の授業で学習しましたが、具体的なイメージはあまり湧きませんでした。私は、選挙管理委員長として1ヶ月活動した中で、2つの事を感じました。

1つ目は、投票が行われるまでの準備の大変さです。立候補者の受付や立会演説会の準備などたくさんの手間がかかりました。国会議員などの規模の大きい選挙では、もっとたくさんの手間がかかり、もっと大変なのだろうと思いました。選挙を裏方で支えている人達はとてもすごいと思ったし、選挙をする上で必要不可欠な存在であることを実感しました。

2つ目は、立候補者の意思や意見にしっかり耳を傾ける事の大切さです。これは、立候補者の演説を聴いていてとても強く感じました。演説を聴いていく中で、心を動かされたりその人に対する印象が変わったりしました。外見だけの印象ではなく、外見と内面の両方を知った上で立候補者を見ることが大切だと思いました。今回の演説会では、苓北中生全員が立候補者の話にしっかり耳を傾ける姿勢が見受けられ、全員が真剣に考えて投票することができました。

来年4月には熊本県知事選挙が行われることが決まりました。また、私達は、18歳になると選挙権を得ます。私は、この経験を活かして、立候補者の話に耳を傾け、支える側の立場でも選挙に関わることができれば良いなと思います。